

# みちのりグループのご紹介

---



2022年3月3日  
株式会社みちのりホールディングス

## 1. みちのりグループについて

## 2. 海外での取り組み事例

# 会社概要

会社名	株式会社みちのりホールディングス Michinori Holdings, Inc	
住所	【本社】 〒100-6608 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー8階	【東京事業所】 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-10-1 有楽町ビル7階
連絡先	TEL 03-4562-1520 FAX 03-4562-1100	TEL 03-6250-1071 FAX 03-6250-5620
	E-mail info@michinori.co.jp	
設立の目的	グループ公共交通事業体の持株機能及び長期的・持続的な事業価値の向上	
設立年月日	2009年3月16日	
資本金	資本金3億円	
株主	株式会社経営共創基盤 100%	
役員	代表取締役グループCEO 松本 順 (株式会社経営共創基盤 共同経営者) (株式会社日本共創プラットフォーム 取締役専務)	
	取締役 富山和彦 (株式会社経営共創基盤 IGPIグループ会長) (株式会社日本共創プラットフォーム 代表取締役社長)	
	取締役 関 敦彦	

# 事業内容

観光バス



路線バス



高速バス



運転士達



タクシー



電車



ロープウェイ



モルール



観光・旅行

整備

交通

ホテル



車両整備の風景



# みちのりグループ 高速バス運行路線

- ◆ 東日本エリアを中心に58路線を運行し、年間300万人以上の利用者数を持つ
- ◆ デジタルチケット導入、Free WiFi完備など、UXを改善



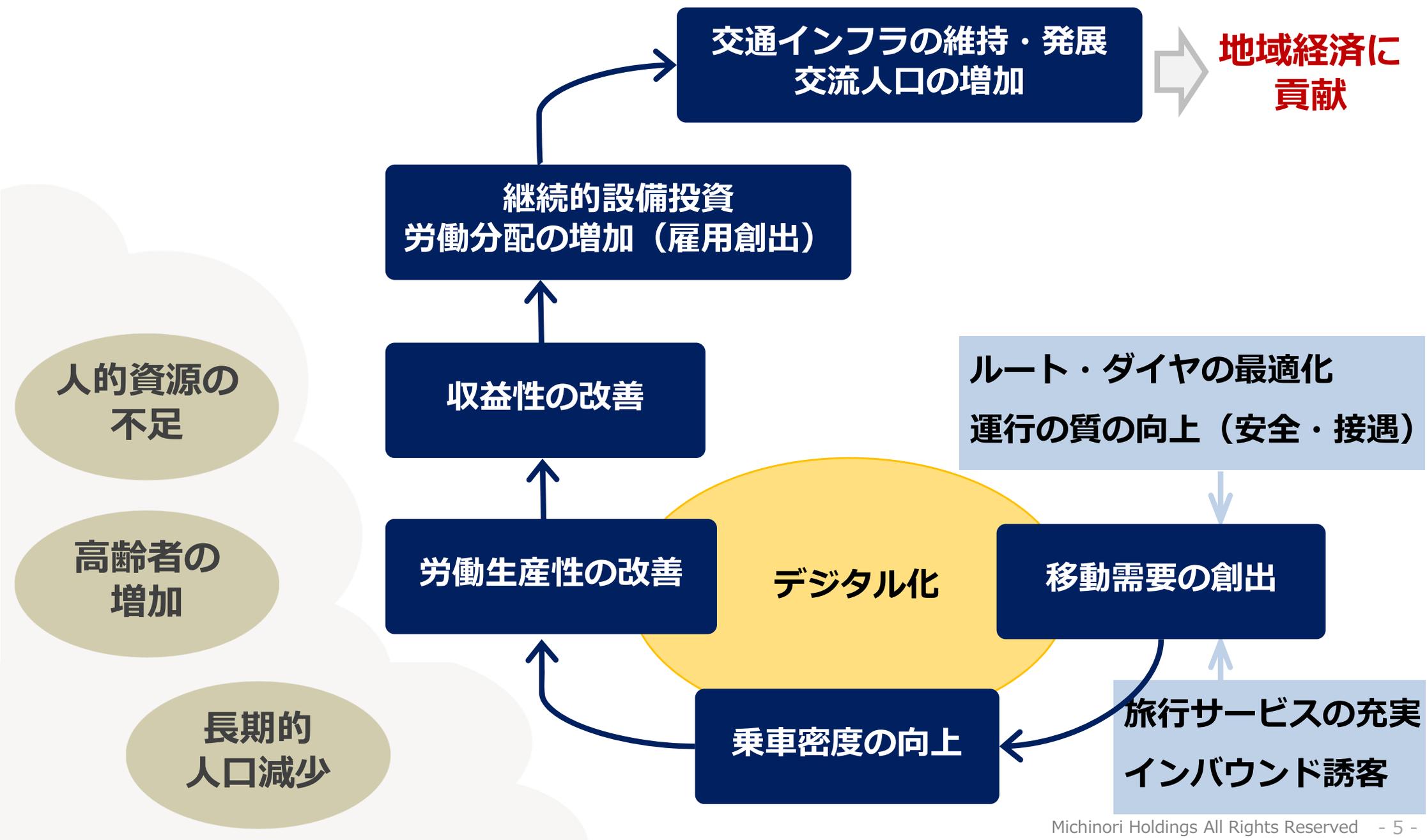
## 高速バス運行路線一覧

- 東北⇔首都圏 8路線
- 東北⇔東北 20路線
- 東北⇔中部・関西 4路線
- 北関東⇔首都圏 7路線
- 北関東⇔東北 1路線
- 北関東⇔中部・関西 3路線
- 東北空港路線 7路線
- 首都圏空港路線 8路線

合計：58路線



車内広報誌 "みちのり" を  
2018年夏に創刊



# みちのりグループの沿革

- ◆ みちのりグループは、2009年に経営共創基盤（IGPI）の100%出資により設立されて以降、多数の交通事業者がグループに参画しています。

2021年8月 なの花交通バスがグループ入り

2019年5月 茨城交通と日立電鉄交通サービスが経営統合（合併）

## 交通・観光事業6グループ

従業員：約4,800人

車両台数：約2,400台



2018年10月 関東自動車と東野交通が経営統合（合併）

2018年4月 東日本交通がグループ入り

2017年12月 日立電鉄交通サービスがグループ入り

2017年5月 南部バスがグループ入り

 2016年12月 東野交通がグループ入り



2015年6月 湘南モノレールがグループ入り



2013年8月 会津乗合自動車がグループ入り



2012年4月 関東自動車がグループ入り



2010年4月 岩手県北自動車がグループ入り



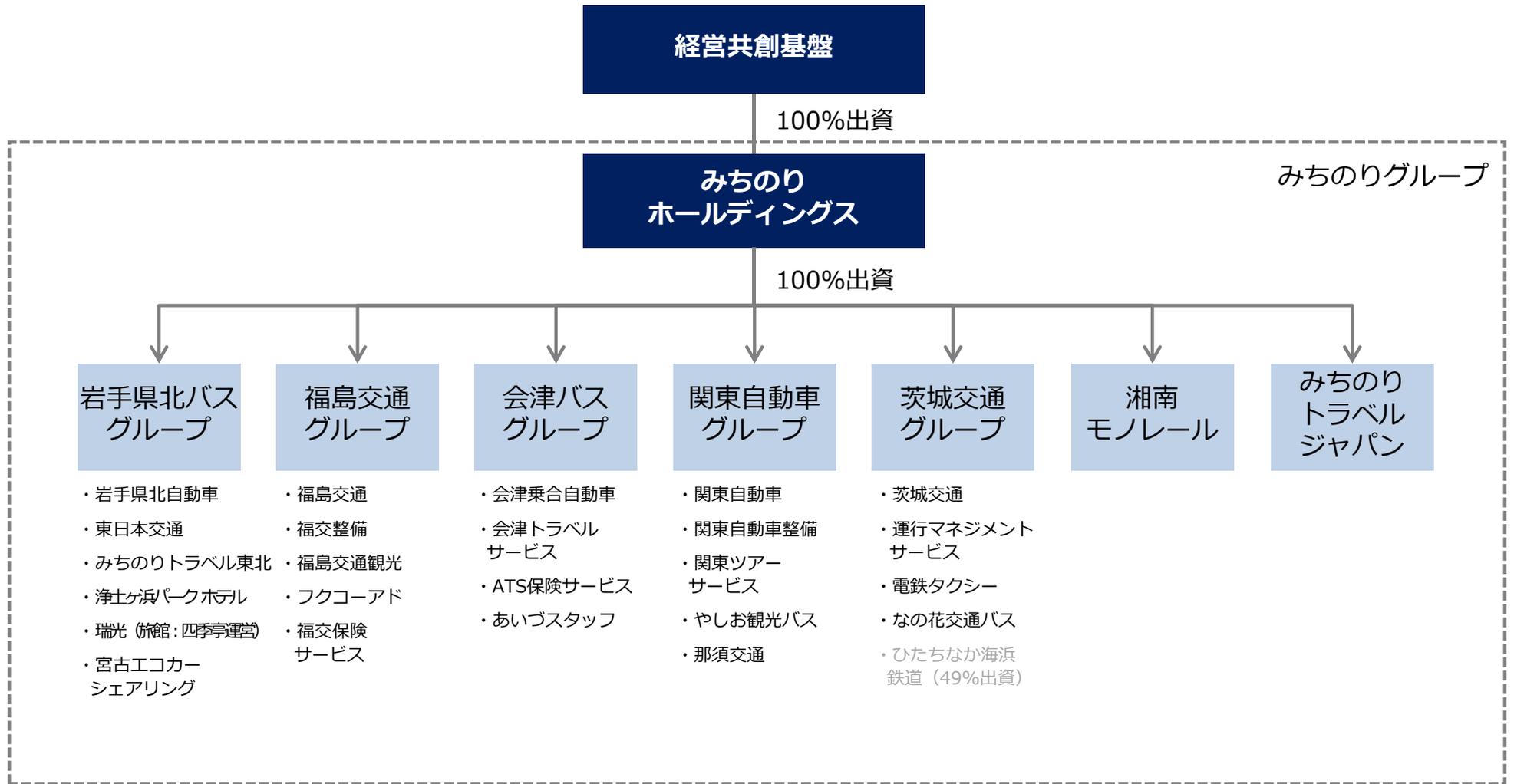
2009年8月 茨城交通がグループ入り



2009年4月 福島交通がグループ入り

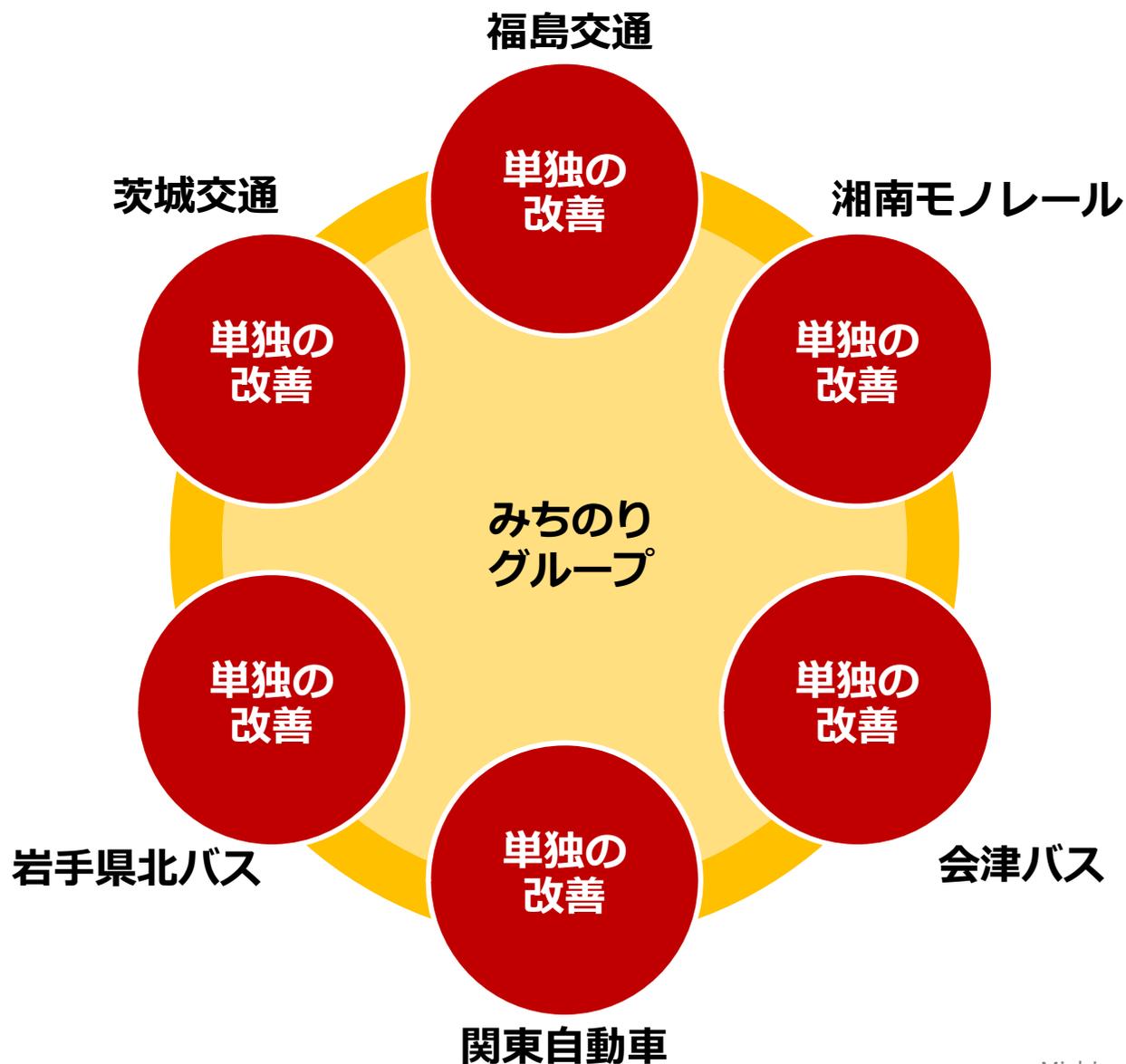


2009年3月 みちのりホールディングス設立



# 広域連携効果

- ◆ ベストプラクティスの横展開や、スケールメリットの追求により、単独では成し得ない改善効果を生み出す



# 縦串・横串のグループ経営



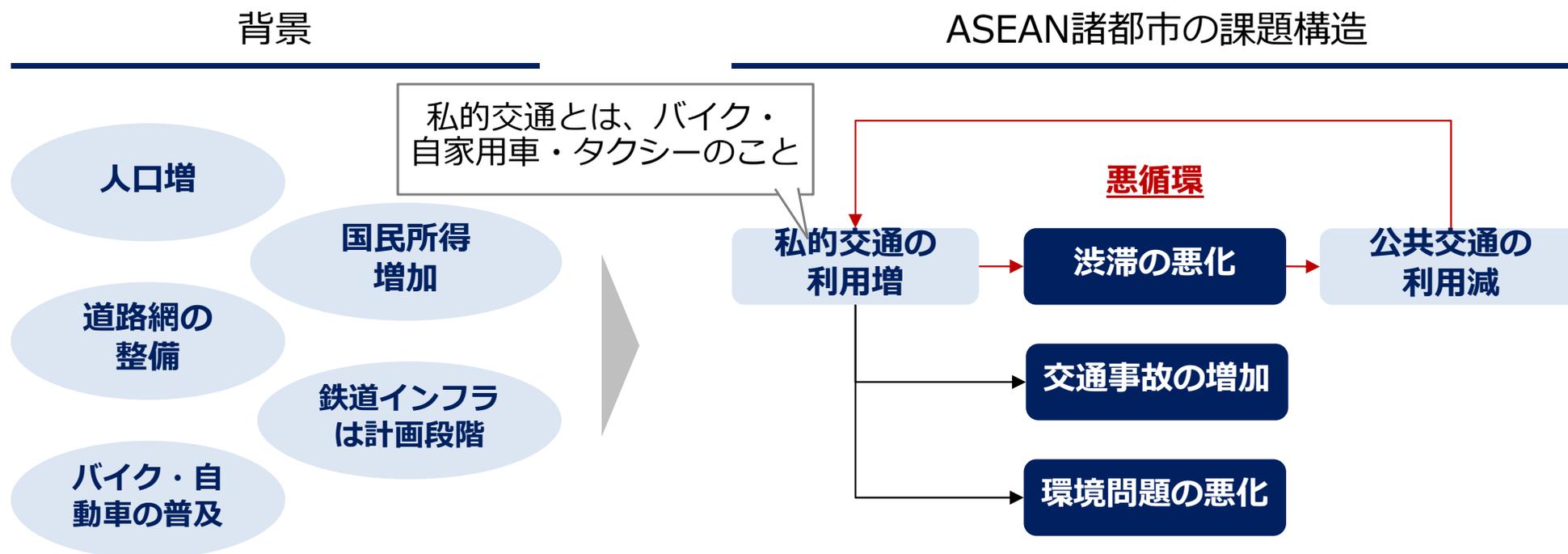
※人数はイメージ

1. みちのりグループについて

2. 海外での取り組み事例

# 新興各国のメトロポリスが抱える問題

- ◆ 新興各国の都市では、慢性的な交通渋滞・交通事故の増加・環境汚染が大きな社会問題となっている



# 公共交通運営の近代化に向けた民間事業の役割

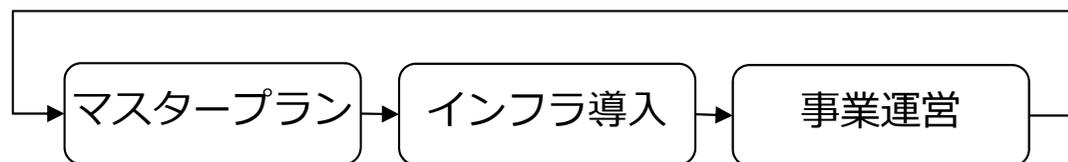
- ◆ 現地課題の解決はマスタープランを継続的・自律的に実行できてこそ。そのために民間事業が担うべき役割も大きい。

現地在真に解決したい課題

- ✓ 都市整備、経済活動活性化
- ✓ 交通インフラの近代化（路線網、質の向上）
- ✓ 事故防止、渋滞解消
- ✓ クリーンエネルギー化、環境対応 等

マスタープラン策定・実行  
(モーダルシフト、マルチモーダル連結 etc)

継続的・自律的な都市開発プロセス



民間事業が担うべき役割

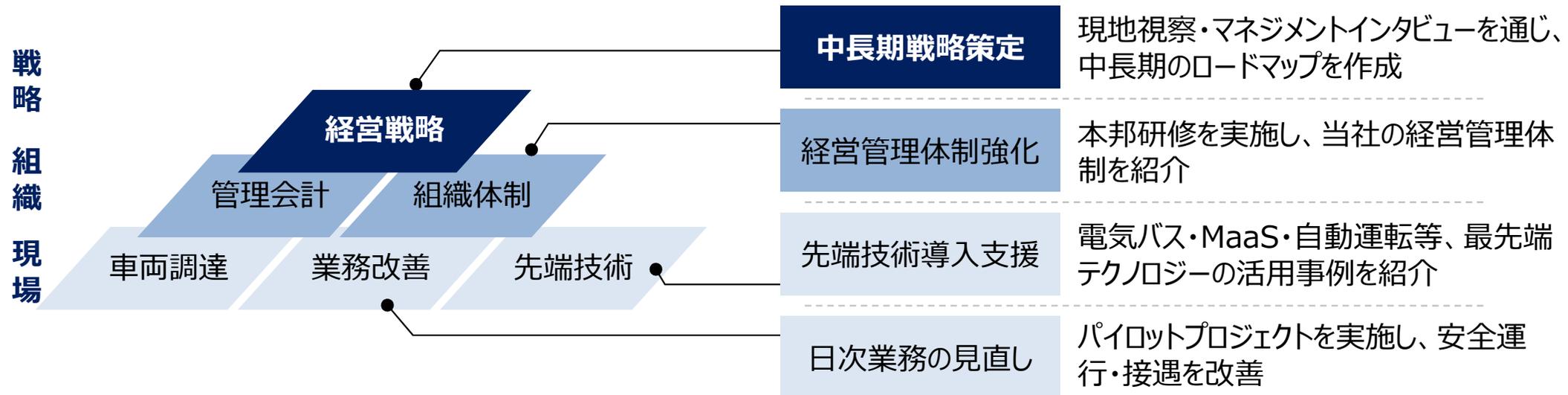
- ✓ 公共交通事業の経営品質向上
- ✓ 近代的なオペレーションの導入
- ✓ 既存事業者の統廃合を含む業界再編
- ✓ 業界・市場全体としての技術活用・規格対応 等

# 現地課題解決に対する民間事業としてのみちのりグループの貢献

◆ 中長期戦略策定から現場のオペレーション改善に至るまで、幅広い領域で支援

支援テーマ

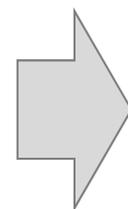
支援内容の一例



## 公営バス会社

人口1千万人都市の公共交通の90%をカバーしている

- ・バス車両台数 : 1,000台超
- ・路線数 : 70超
- ・従業員数 : 1万人超



政府決定により、民営化の方針が示されている



**みちのりグループによる株式取得、経営・事業参画も視野に入れた  
日本のバス事業オペレーションの海外インフラ輸出**

# 本邦研修の実施

- ◆ 2019年、公営バス会社の幹部を日本に招聘し本邦研修を実施



# 現地での大規模公共交通セミナーの実施

- ◆ 2019年、日本からは国土交通省、現地からは公共交通管轄当局をお招きし、公共交通の重要性、両国の公共交通政策、事業者の取り組みに関するプレゼン、意見交換を実施



- ◆パイロットPJとして、アルコールチェッカーの試験導入、みちのり式の点検、面前の出発前点呼を実施し、路上故障の低減や安全運行の意識改革・成果につながる

## 日次業務の導入支援

## アルコールチェックの導入支援

### 始業前 点検

- みちのりがチェックリストを提供
- 上記参考に、自社でチェックリストを作成し、15分程度の点検を実施

### 出発前 点呼

- みちのりの出発前点呼の方法を紹介
- 出発前に必ず面前での点呼を実施
- 健康状態確認や道路状況等に関する情報を共有

- みちのりが推奨メーカーを選定し、機器の選定をサポート
- みちのりの交渉により、メーカーからのアルコール検知器の貸出を実現
- 導入設置後も、教育・研修を実施し運用を支援
- 結果、ドライバーの安全運行に関する意識改革を実現

- ◆ デジタルタコグラフの試験導入を行い、運転技術の向上、燃費改善、ドライバー評価制度の構築を図り、現在も改善活動を継続中

### ① 事務所



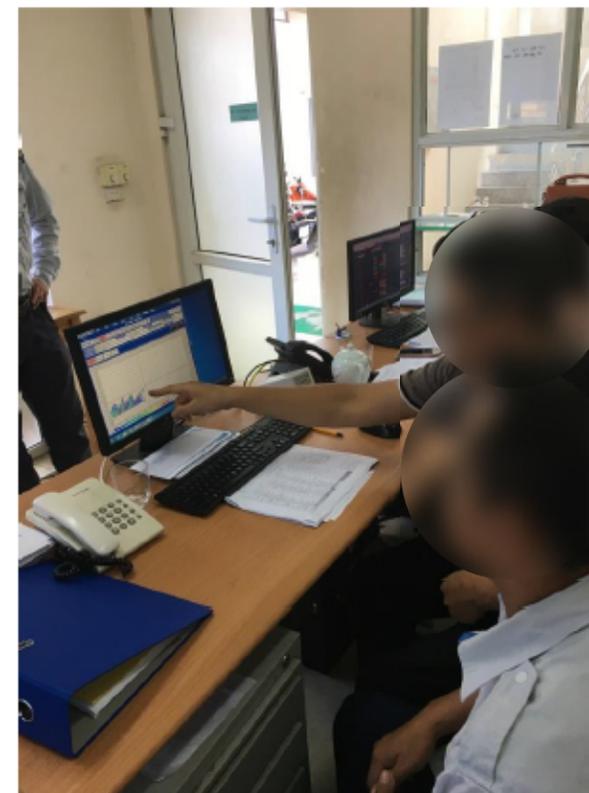
点呼の際、運行管理者より  
記録カードを受け取る

### ② 出庫



記録カードを車載機にセットし  
運行を開始する。

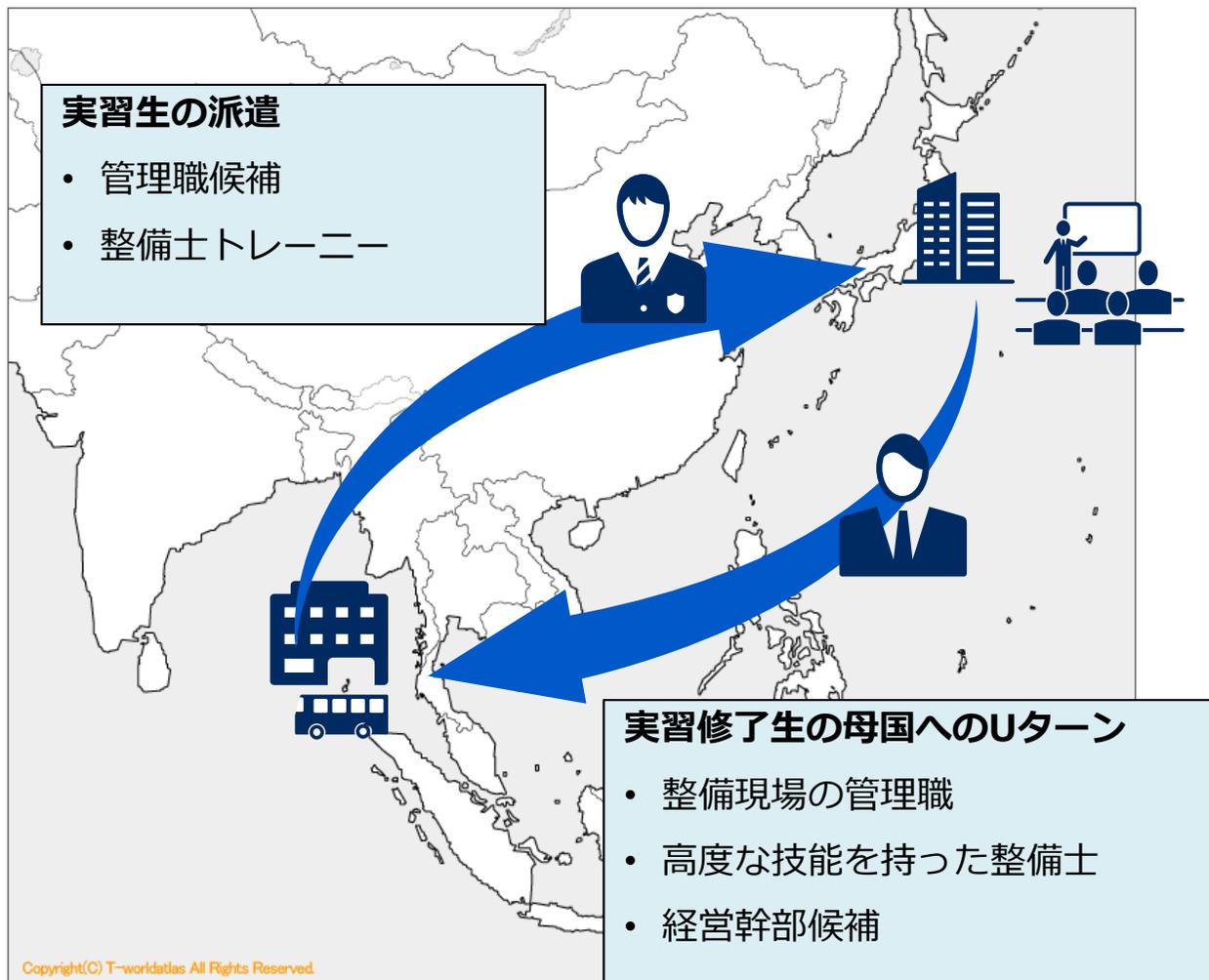
### ③ 入庫



運行管理者が記録カードを読み  
取り、ドライバーの運転について  
指導を行う。

# 人材開発プログラム（技能実習生の受け入れ）

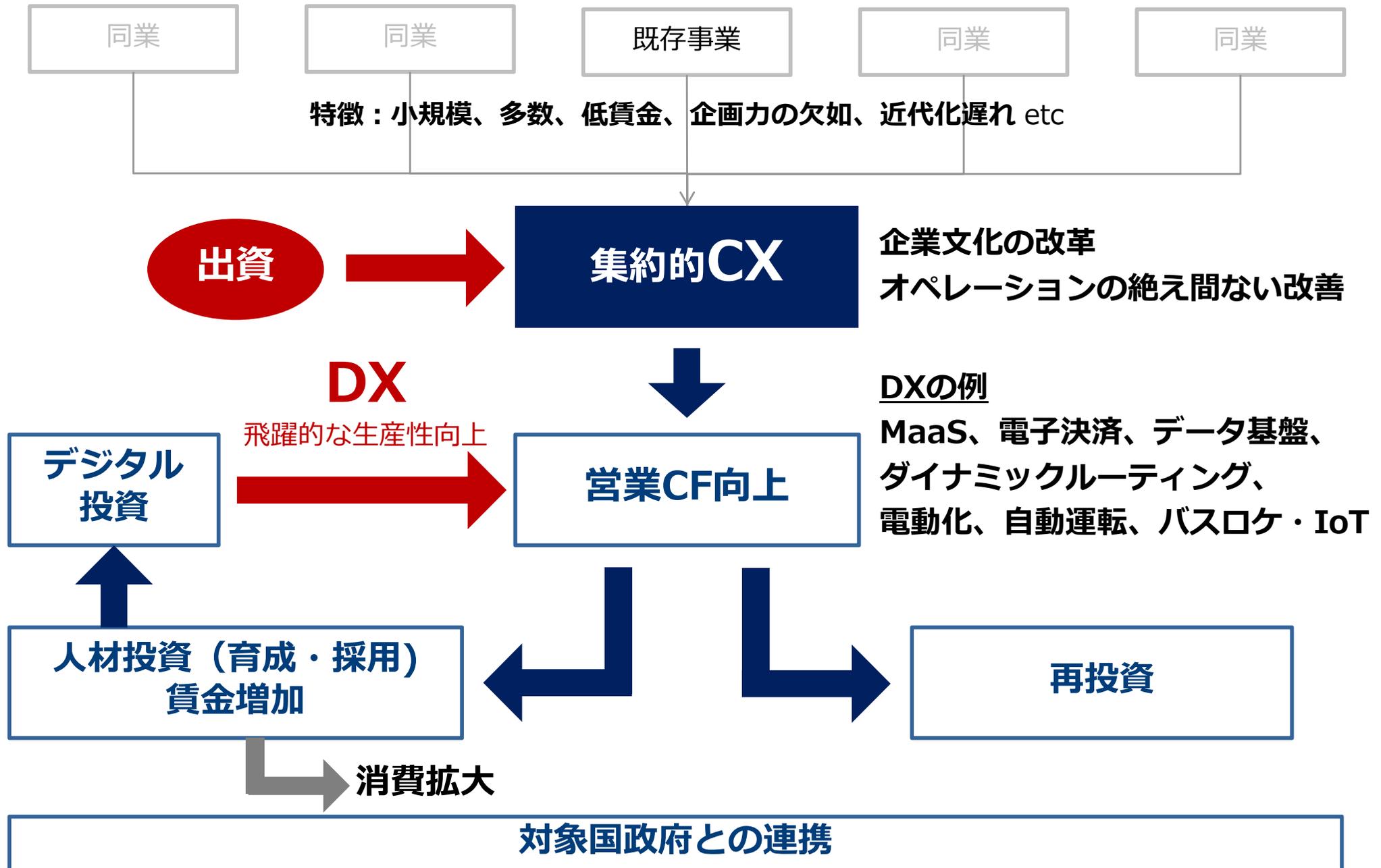
- ◆ 2020年、現地のバス会社の整備士を技能実習生として受け入れ開始
- ◆ みちのりグループ各社の現場で基礎知識、現場での実践的スキル、管理者としての知見を習得中
- ◆ 整備部位ごとに教育項目と技能評価を設定すると共に、パーツ交換基準や力加減など数値化しにくい技能も丁寧に伝達



## みちのりグループ各社の整備現場で 実践的実習プログラムを実施



# 新興国大都市におけるバス事業近代化支援の要諦



# 日本のバス事業オペレーションの海外インフラ輸出

